

授業科目

人体の構造と機能I

担当教員名 奈良 貴史、澤田 純明、鈴木 了	対象学年	1	対象学科	救急
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	4	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

救急救命士は、限られた時間かつ各種検査ができない状況下で、視・触・聴診等による観察から傷病者の状態を推測しなければならない。そのためには、人体の構造と機能について、解剖学的、生理学的、生化学的事項を理解しておくことが基本となる。本科目では、人体の構造を系統別に学習する。

授業の目的

人体を構成する各器官の構造を系統別に理解し、救急救命士に必要とされる解剖学的基礎知識を習得する。

学習目標

1. 骨の構造や発生について学習し、骨格全体の成り立ちを把握する。
2. 骨格筋の構造と機能および神経支配を理解する。
3. 脳と脊髄の構造を理解し、脳神経・脊髄神経の基本構成を把握する。また、自律神経系について理解する。
4. 特殊感覚器の形態と構造を、その感覚機能と関連づけて理解する。
5. 心臓・動脈・静脈・リンパ系の諸器官について、形態的特徴と構造および全身の分布を理解する。
6. 消化管と消化腺の形態と構造を理解する。
7. 気道の構成とガス交換に関与する肺の構造、および発声器官の構造を理解する。
8. 内分泌系の各器官の位置と名称を理解する。
9. 腎臓および尿路の形態と構造を理解する。
10. 生殖に関わる器官の構造と構成を理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	人体を構成する要素	講義	奈良 貴史
2	体表から見た人体の構成	講義	奈良 貴史
3	骨格系の構造1	講義	奈良 貴史
4	骨格系の構造2	講義	奈良 貴史
5	骨格系の構造3	講義	奈良 貴史
6	骨格系の構造4	講義	奈良 貴史
7	筋系の構造1	講義	奈良 貴史
8	筋系の構造2	講義	奈良 貴史
9	筋系の構造3	講義	奈良 貴史
10	筋系の構造4	講義	奈良 貴史
11	神経系の構造1	講義	鈴木 了
12	神経系の構造2	講義	鈴木 了
13	神経系の構造3	講義	鈴木 了
14	神経系の構造4	講義	鈴木 了
15	感覚系の構造1	講義	鈴木 了
16	感覚系の構造2	講義	鈴木 了
17	循環系の構造1	講義	鈴木 了
18	循環系の構造2	講義	鈴木 了
19	循環系の構造3	講義	鈴木 了
20	循環系の構造4	講義	鈴木 了

21	消化器系の構造1	講義	澤田 純明
22	消化器系の構造2	講義	澤田 純明
23	消化器系の構造3	講義	澤田 純明
24	消化器系の構造4	講義	澤田 純明
25	呼吸器系の構造1	講義	澤田 純明
26	呼吸器系の構造2	講義	澤田 純明
27	内分泌系の構造	講義	澤田 純明
28	泌尿器系の構造	講義	澤田 純明
29	生殖器系の構造1	講義	澤田 純明
30	生殖器系の構造2	講義	澤田 純明

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	救急救命士標準テキスト 上巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	ヘルス出版	2015年	9,800円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

科目試験100%

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

授業時に確認すること